

第七小学校ことばの教室 ご案内

「どんな教室なの？」

ことばについて心配があって、学習や生活で困っているお子さんに援助の手だてを考え、指導を行います。



「どんな指導をするの？」

- 話すのが楽しいという気持ちを育て、伸び伸びと話せるようにします。
- 人の話を聞いたり、文章を読んで理解したりする力を伸ばします。
- 正しい文で話したり書いたりする力を伸ばします。
- 正しい発音で話せるようにします。

「どんな心配があって通っているの？」

発音が気になります

「さかな」を「たかな」、「はっぱ」を「あっぱ」、「かき」を「たち」と言ったり、全体に曖昧だったり、声が鼻に抜けたりします。



話しくさそうです

「ボ、ボ、ボ、ボク…」と言葉の出だしを繰り返したり、「あーした」と音を引き伸ばしたり、「・・・が、がっこうでね」とつまって言葉が出にくかったりします。

他の発達に比べ言葉が遅いように思います

話す内容が年齢に比べ幼い、言葉の数が少ない、話が伝わりにくいようです。文で話すのが苦手です。

文字を読んだり書いたりするのが苦手です

何度練習しても文字がうまく書けません。文を読むのがたどたどしく、言葉のまとまりで読めません。

「通うことになったら…」

- 一人一人のお子さんの状態に合わせて、指導内容を考えます。
- 1対1の個別指導が中心です。必要に応じて、小グループ指導も行います。
- 在籍学級の先生と連絡を取り合いながら進めます。授業を抜けても、欠席・早退・遅刻扱いにはなりません。

「いつでも相談できます」

相談は随時行っています。

直通電話でどうぞ・・042-527-3627

ご家庭でのかかわりのヒント

コミュニケーションの基本は気持ちの伝え合い

- お母さんや家族の人の話がおはなしのモデルになります。丁寧に分かりやすく話してあげましょう。
- お子さんの話をよく聞いてあげましょう。お子さんが「伝わった」と実感できることが大切です。
- お子さんが安心して話せるよう、お子さんの話し方を注意したり真似たりしないようにしましょう。
- 一緒に楽しいことを経験して、共感したことを言葉にしてみましょう。

